

平成30年度 歴楽講座 第8回 ✚

古文書から見た下総の戦国時代



千葉勝胤ゆかりの勝胤寺（佐倉市）

下総の戦国時代を知る手掛かりとして、当時の人が書いた古文書があります。例えば本土寺過去帳は、短い文章ながらかなり正確な事実を記録しており、そこから分かることも色々あります。当時の書状や小田原北条氏などの記録からも、下総の戦国の動静を知ることができます。文化面では、千葉勝胤と親交があった歌人衲叟馴窓（のうそうじゅんそう）は永正11年（1514）に『雲玉和歌抄（雲玉和歌集）』を編さんしましたが、千葉氏一族や家臣たちが、「佐倉歌壇」を作っていたことも分かっています。

今回、当時の文書などを手がかりに、下総の戦国時代の一面を考察しようと思います。

日時： 2019年1月27日（日）13:00～ 2時間程度（12時半開場）

場所：アミュゼ柏 会議室B

柏市柏6丁目2-22. ⇒ アクセス：柏駅東口より徒歩7分

講師：当会より

費用：会員100円 会員外300円（資料代など）

その他：駐車場は隣接してありますが、有料です。

主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

【お問合せ先】

E-Mail：info@matsugasaki-jo.net TEL：090-3579-5185 森（平日は18時以降で）